



会報



DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

月 見

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 P.M 12:30—1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会 長 鈴木 弥 一 郎
幹 事 中 江 亮

Service. I believe in Rotary.

奉仕・ロータリーを私は信奉する。

第 878 号 1976. 10. 19 (火) (くもり) No.14

— 本日のプログラム —

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (それでこそロータリー)
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 上林一郎君退院挨拶
5. 会長報告
6. 幹事報告
7. 年次大会報告～中江亮幹事～石黒慶之助君～三井徹君
8. 委員会報告

スマイル～親睦活動委員会 丹下誠治郎君 出席報告～山口篤之助委員長

■ ゲスト・ビジター紹介

池田好雄君—立川 R・C 奥 山源内君—山形 R・C 上野十九治君—鶴岡西 R・C

■ 会長報告

去る10月12日本年度第3回目のクラブ協議会を山王閣に於て開催致しました。

各委員長より此れまでの奉仕活動に関する反省及び今後の活動計画に対する希望、調整について熱心で活発な討議が行われました。新しく入会された会員の方々からも発言があり今後共クラブ運営の大きな参考にして参り度いと考えています。

○去る10月16日中江幹事と病欠席中の菅君を荘内病院に見舞いました。大変快方に向かわれて居り皆さんによろしくとの事でした。

同じく清水重雄君を自宅に御見舞致しました。

同君は肝疾患で療養中で御座いました。

■ 幹事報告

○ 例会変更案内

温海 R・C 10月25日の例会 PM5:30~雷亭 @¥5,000

○ 5周年記念祝賀会案内

八幡 R・C 11月13日 AM11:40 八幡中央公民館 @¥3,000

○ 会報到着案内

村上 R・C

■ 年次大会報告

< 東北、北海道5地区連合大会報告 > 中江幹事

— おことわり — 中江幹事より詳細な報告書を頂きましたが、紙面の都合により要旨を掲載しますので御了承下さい。(会報)

1. と き 昭和51年10月1日~10月3日
2. と ころ 札幌市 オリンピック屋内競技場 アイスアリーナ
3. 参 加 者 早坂源四郎夫妻、石黒慶之助夫妻、三井徹夫妻、齋藤栄作夫妻、
中江亮
4. 登録総数 4,708名
5. 承認事項第353地区関連事項
 - (a) 1978~79年度のガバナーノミニーとして加藤武久君を承認
 - (b) 1977~78年度の353地区年次大会を米沢 R・C をホストクラブとして米沢市で開催を決定

6. 挨拶 マンチェスターR・I会長

- (a) 札幌冬期オリンピック大会聖火台がロータリアンの寄附によって建設された事をロータリアンの一人として誇りに思っている。
- (b) 1920～21年日本に於てロータリークラブが誕生して以来、アメリカ以外の総べての国々に比べその実績は最も高く世界の人々が等しく日本のロータリアンに敬意を表している。
- (c) 奉仕とは何をやるにしても他人に対して思いやりを忘れてはならない。ロータリーは更にその思いやりを実業、専門的職業を通して社会に寄与し貢献しているもので、その資金は常にロータリアンのためのものであり、社会に奉仕するためのものである事を意識して欲しい。
- (d) 実業人にとって信用は重要なものであり此の信用と誠実は互に表裏一体をなすもので、その基本的姿勢即ち“正直は最良の政策である”。
- (e) 更にマンチェスターR・I会長はクラブ及びロータリアンに次の事を要望した。
 - 第1に 此の実業の倫理問題を各クラブでもっと話合って欲しい。
 - 第2に ロータリアンがこの職業倫理をクラブ内だけに止めず、これを押し拡めて同業組合の規則、規定に積極的にたずさわる事に依り社会に寄与されたい。
 - 第3に 若い人達との接触を拡げその人達が他人に対して犯すかも知れない信用の欠知に對し是正助言をして欲しい。
 - 第4に エネルギー資源の保護と環境の保全問題について社会の利益のため、積極的に発言して欲しい。

更に挨拶を結ぶに当り会長は、私達が此の世を去る最後の日に私達の手にあるものは此の世で私達が他人に与えたものだけであって、それ以上でもそれ以下でもない。偉大な医師でありロータリアンのシュバイツ博士の言われた“あなた方の中で本当に幸福になれる人達は、如何にして奉仕するかその方法を探し求めそれを発見した人達だけだ”と云う言葉を紹介した。

7. 特別講演東京R・C 鈴木達雄氏

“ロータリー職業奉仕と日本人”我々ロータリアンはクラブで言う職業奉仕だけを考えず、日本人として広く世界に向って職業奉仕のあり方を考えるべきであり、かつてのオイルショックの如く振りまわされる事のない様にしなければいけない。又ロータリアンは社会に於て積極的に発言し正しい国論の形成に役立たせるべきである。

8. 新ポールハリスフェロー紹介

小池繁治、三井賢二、上野三郎、佐藤友吉の諸君

9. 10年間皆出席

阿部襄君

10. アトラクション

パークホテルに於て全員合同懇親会が行われ、島倉千代子の特別ショーがあったせいかわい人であった。

11. 第2日本会議会場は第1日目と同じでR・Iの現況報告決議採択、記念品贈呈等。

前におことわりした通り中江幹事の報告の全文を原文のまま掲載出来ませんでした。詳細をお知りになりたい方は参加者よりおききとり下さる様お願いします。 — 会報 —

<大会参加の感想>

石黒慶之助君

私は約40年前、北大の研究室におったので札幌は非常に懐しい都市であります。

当時と比べ札幌は非常に近くなり、札幌の発展は人口35万から120万と膨張し東北、北海道最大の都市となっている。道路網の発達、郊外の都市化には目を見張るものがあり、更に立川R・C5人の方々と共に観光に参加しましたが広大な大自然の美しさの中に日高、十勝方面の平野は勿論、谷間まで舗装された道路が延び、開拓されています。僅か100年間でよくもまあこんなに発展したものと人間の力の偉大さに驚いて参りました。

地区大会の参加者は4,700名、第353地区では660名、庄内からは鶴岡が9名、鶴岡西7名、酒田8名、酒田東9名、温海18名、余目4名、立川5名、遊佐と八幡が夫々2名でありました。

今回はR・I会長 Robert A. Manchester 夫妻の出席があり、地区大会としては現役の会長がおい出になったことは異例の榮譽であったと思います。また、R・I理事竹田恒徳御夫妻、元R・I会長東ヶ崎御夫妻などの名士も出席されたが切角のご参加なので何かお話を承りたかったのですがスピーチの時間を作らなかったのは残念でした。

真駒内アイスアリーナの会場は大変な人混みで人を捜すには非常に困難なほどでしたが、札幌R・C大会委員会の周到な準備、全会員の献身的な奉仕活動により、プログラム、会場設営並びに会の運営など立派だったと思います。観光旅行なども4コースとも多勢参加し賑やかな楽しい旅が出来たと思います。唯、連合大会のため単位地区独自の行事、協議事項などが大部そこなったように思います。

私はグループ研究会（青少年交換研究会）に出席し、5地区35名で討議を行いました、その報告はクラブ協議会の席で行いました。

何時も大会は感激の中に勉強になる資料が数々あるものであるが、今回はマンチェスター会長のR・I現況報告の中に変な勉強になった言葉があります。その2、3を披露申し上げて大会報告の責めを埋めてみたいと思います。

(1) 第1日の地区大会講演では

ロータリーの真髓に言及し、「私たちは石の壁をめぐるし鉄の柵をめぐるしても身の安全を保障されない時代に入っている。保障がロータリーとどういう関連があるのでしょうか」と話を出し、「奉仕という高い水準の行動によってのみわれわれは相互の尊敬を生みだし自尊心を涵養することが出来る。このような善意の人々との間の理解は切望して止まない保障を劇的に生みだし得ることでしょう」と、「この相互の尊敬を得るには誠実と信用である」ことをじゅんじゅんと説き、「倫理的問題を討議する場として毎週の例会が有効である」とか、業務を行うためのより大きな指導力の発揮とか、自らが社会に奉仕することの重要さとか、若い人たちとの接触とか、公共問題に倫理的な配慮が必要だとかにつき私共をさとし、最後に「私たちがこの世を去る最後の日に、私たちの手にあるのは、この世で私たちが他人に与えたものだけであって、それ以上でもそれ以下でもない」と述べられた。

この言葉は非常に感銘を受けました。私共があくせくと働き、それを得ようと闘って得た個人的な富も、地位も有形の価値はすべてなくなってしまい、自分自身を尊敬できるような生き方のみが映し出されるだけでありましょう。奉仕の精神が如何に重要であるかを教えられたわけがあります。

(2) 第2日目のR・I現況報告では“Serviceとは何か”について話されたので、これについて報告いたします。

奉仕の精神はすべての国とすべての人類に対し不偏的である。Service — 他人への想いやり — はどこに住んでいる人の心にも感応し易い弦音（反響）を与えるものである。Serviceは人生を楽しむ。そしてわれわれの地平線を広くする。

ServiceはKindness (親切) であり
Thoughtfulness (思いやり) であり
Courtesy (礼儀・好意) であり
Consideration (思慮深い、思いやり) であり
Tolerance (寛容) であり

他人の見解に対してのAppreciation (理解) である。と解説されました。

※ 三井徹君の報告は次号に掲載の予定です。

<地区大会グループ研究会青少年交換研究会に参加して>

石 黒 慶 之 助 君

地区別協議会開催中これと平行して研究会が開かれ、リーダー大原菅一郎P.Gのもと5地区より5～7名宛32名の集会でした。議題は(1)青少年交換はクラブのどの奉仕部門で担当しているか。青少年奉仕部門をもうけているか。(2)青少年交換に要する費用はどのようになっているか。の2つでありました。

(1) について

わが鶴岡R.Cでは今年度より四大部門の外に青少年奉仕委員会を新たに作り、これにインターアクトとローターアクト及び国際青少年交換の特定委員会をもうけたわけですが、その運用が円滑に出来ず迷っているわけです。各地区の発表でも同じ悩みを持っているようです。五大部門でやっているのは第352地区だけで他の大部分は今までのように四大部門のままで青少年交換は国際奉仕委員会が担当しているようでした。結局、クラブレベルでは青少年委員会を四大部門と同格に取扱うことは現状では無理だというのが多数意見であった。

(2) について

青少年交換についてのクラブや地区の予算は全くまちまちで統一的なヒナ型がない。例えば353地区では会員1人年1,000円宛集め300万円位の予算で13名の交換学生を受け入れているのに、351地区では会員1人年1,000円の外に、分区でも1,000円集め640万円位の予算で6名の学生を受け入れている。また学校への謝礼も5万円、10万円、或は60万円を贈り教師の短期渡米費用に当てたり、或は全然謝礼なしのところもあった。

特に交換学生に力を入れている第351地区では、交換学生を単に受け入れても実効が上らない。日本に来る学生は第1志望でなく、余り気が進まないが「日本でもいいやあ」と考えて来日する者が多い。従って日本の悪口を言ったり、早く帰りたいと考えている学生が相当ある。彼等は陰では「日本に来て1年間損をした。」「この1年間のはんびり遊びだ。」「学校に行きたくない。」などの不平や悪口を言っている。こんなことでは全く無意味なので、昨年から入国直後8週間、「日本研究集中教育」を実施している。Y.M.C.A寮にかんづめにして北大で1日7～8時間の講義を重ねてからホストファミリーに手渡すようにしている。その成績は大変よかったので今後も実施する。他地区からの要望があれば受け入れてもよい。但しその経費は1名につき57万円位かかる。

また第352地区では3泊4日間の日本語講習会を青年の家を利用して実施している。わが353地区では今年から羽田で数時間のオリエンテーションを行っているだけです。従って及ばずながらホストファミリーで我流の日本教育を行っております。これは今後の研究課題として地区で検討されることを要望しました。

<スマイル> 親睦委員会

- マルトミ竣工と田中貴金属工業㈱の建設請負が決定し、中央工業団地内で起工式が行われたので、富樫良吉君（鶴岡建設）よりスマイルを頂きました。
- マルトミ社屋が竣工しましたので、小松広徳君よりスマイルを頂きました。
- 北海道・東北5地区連合大会に都合により出席出来なかったとのことで、会長よりスマイルを頂きました。

<鶴岡高専 I・C 羽黒山清掃奉仕親睦行案会について>

51. 10. 19

日 時 10月17日 AM 10.30 AM 12:00
 場 所 羽黒山参道 随神門より合祭殿まで
 参加者 31名 鶴岡高専、鶴西高、鶴工高各 I・C 及び各高校ボランティアグループ（北高校、家政高、家庭専門学校）にも呼びかけ奉仕の理解と親睦を計りその上会員拡大をも計る目的で上記の計画を実施した。

奉仕の精神が出羽三山の神霊に通じたのでしょうか、奉仕団を心から歓迎しているかの様に、まことに素晴らしい秋晴れとなりました。参道清掃奉仕の汗がいかに尊い貴重なものであったかを会員は共に身をもって体験し味わい、歴史博物館で昼食をとり「なめこ汁」と「羽黒山の力餅」に舌鼓を打ちながら余力を補給する。後交歓会に入る。PM3:00無事下山する。

<出席報告>

本日の出席	会員数	72名	欠席者	阿部(公)君、阿部(襄)君、五十嵐(伊)君、玉城君、風間君、黒谷君、石倉君、小池君、角田君、小野寺君、斎藤(得)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(友)君、佐藤(正)君、鷲田君、笹原君、菅君、高橋(良)君、清水君、津田君、菅原(辰)君、藪田君、吉野君、中村君、諸橋君
	出席数	46名		
	出席率	63.89%		

前回の出席	出回出席率	70.83%	メア 1ツ クラブ	飯白君一八幡 R・C 皆川君一立川 R・C 藪田君一仙台 R・C 阿部(公)君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、玉城君、嶺岸君、森田君、中野(清)君、鷲田君、新穂君、横山君一鶴岡西 R・C
	修正出席数	64名		
	確定出席率	88.89%		

<会報委員会よりお願い>

- 毎回会員各位にお願いしているように、スピーチ等の場合、原稿又は要旨（簡条書きでも可）を提出して頂くと、省力化が計れますので、御協力下さい。
- 各委員会の委員長の皆さん!! 委員会報告用紙がありますので、御利用下さい。
- 原稿、要旨、報告事項はスピーチ等終了後、直ちに会報委員にお渡し下さい。
- 写真は印刷の関係上なるべく白黒でお願いします。